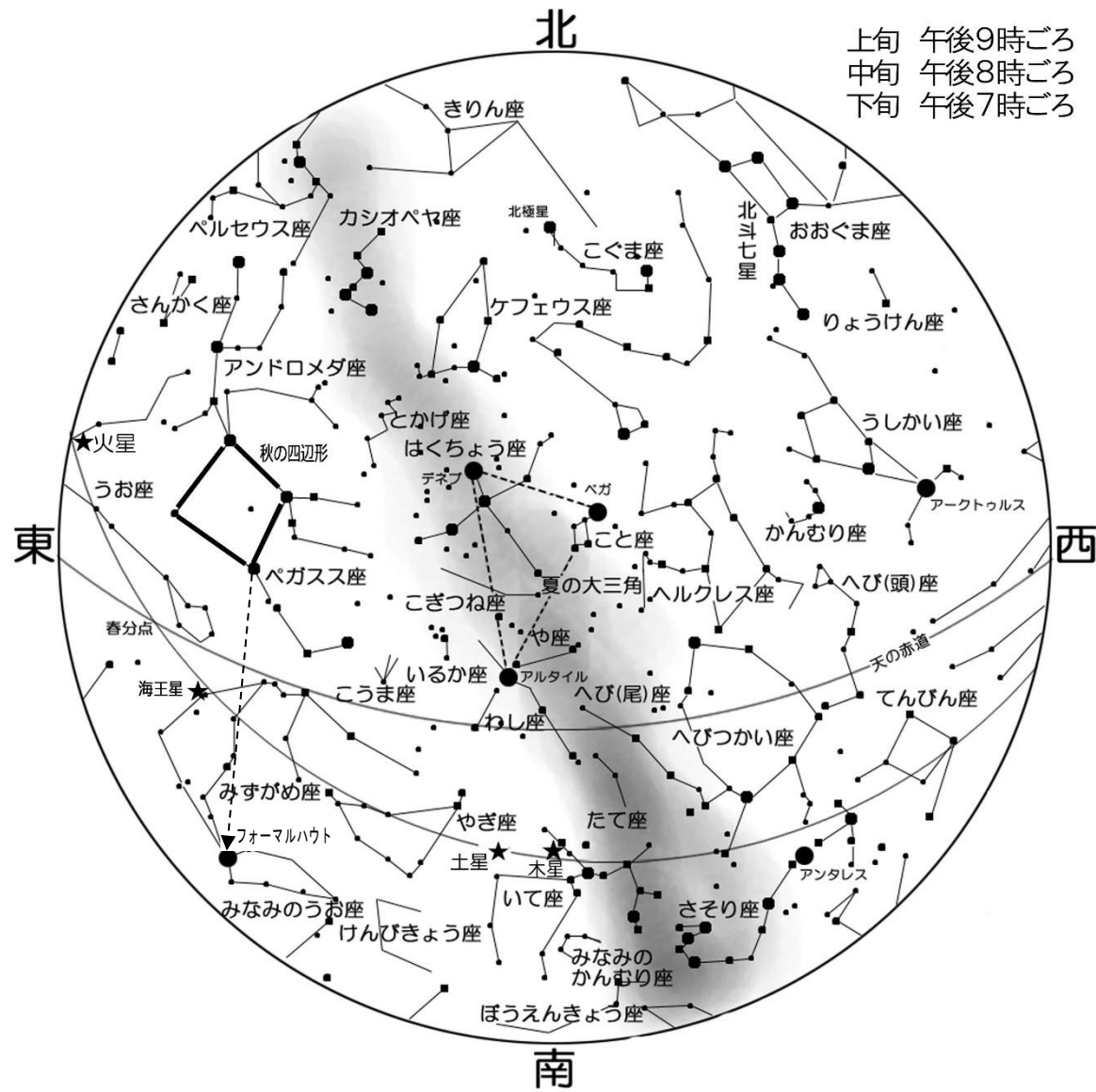


# 令和2年 9月の星空さんぽ☆ガイド ~ほしを眺めてみませんか~



上旬 午後9時ごろ  
中旬 午後8時ごろ  
下旬 午後7時ごろ

## ★9月の星空案内

8月7日に立秋を迎え、暦の上では秋になりましたが、まだまだ上図の時間帯、夜空の主演は夏の星座です。夏の星座探しは、頭の真上あたりでひとときわ明るく輝く星から始めましょう。この星は、こと座の1等星ベガ(織り姫星)です。ベガからやや南東で輝く星は、わし座の1等星アルタイル(彦星)です。ベガから北東に目線に移すと、はくちょう座の1等星デネブが見つかります。このベガ、アルタイル、デネブを結んでできる大きな三角形が『夏の大三角』です。そして、東の空からは秋の星座たちが昇り始めています。秋の星座探しは、東の空にある、同じくらいの明るさの星4つでつくる四角形『秋の四辺形』から始めましょう。ここには、秋を代表する星座の1つ、ペガスス座があります。『秋の四辺形』の右側(西側)の辺を下に延ばしていくと、南東の空の低いところで輝く1等星フォーマルハウトが見つかります。フォーマルハウトは秋の星座をつくる星々の中で唯一の1等星なので、「秋の一つ星」とも言われています。フォーマルハウトをもつ星座はみなみのうお座です。夏と秋の星座を巡りながら、季節の移り変わりを感じてみてはいかがでしょうか。

### < 現在見える惑星 >

水星(-0.2等前後):しし座→おとめ座付近	観測に適さない。
金星(-4.1等前後):ふたご座→しし座付近	日の出前、東の空でひとときわ明るく輝く。
火星(-2.2等前後):うお座付近	22時ごろ、東の空で赤く輝く。
木星(-2.5等前後):いて座付近	20時ごろ、南の空で明るく輝く。
土星(0.4等前後):いて座付近	20時ごろ、南の空で輝く。

### 注目の天文現象 ~秋の夜長に月を楽しもう~

秋は月を楽しむのにお勧めの季節です。なぜなら、月の高度と空気の条件が良いからです。月の通り道は季節によって異なります。【図】のように、満月の日、0時の空で比べると、夏は高度が低く、冬は高いことが分かります。高度が低いと、街明かりや地表付近のちりの影響を受けやすくなります。また、春や秋は観望するのに適した高さに月が見えるのですが、春は霞がかかり、ぼんやりとした月になる日が多くなります。よって、比較的空気が乾いて澄んでいる秋は、くっきりとした月が見え、観望するのにお勧めの季節と言えるのです。

くっきりとした月が見える日には、月の模様にも注目してみてください。月は表面の岩石の違いから、白っぽく見える部分と黒っぽく見える部分があります。【写真】の「静かの海」と呼ばれる場所は、1969年7月、アポロ11号の宇宙飛行士が人類で初めて月に降り立った場所です。そして、今月「アポロ展」で展示される月の石が採取されたのが「雨の海」と呼ばれている場所です。

51年前の壮大な冒険に思いを馳せながら、月を眺めてはいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
2	水	○満月 (14:22)	17	木	●新月 (20:00)
10	木	☾下弦 (18:26)	22	火	秋分 (22:31)
14	月	細い月と金星が並ぶ	24	木	☾上弦 (10:55)